

Windowsサービス

Windows および混合プラットフォームのワークグループ環境をサポートするハイパフォーマンスなネットワークサービス

主な機能

ファイルおよびプリントサービス

- Samba 3を統合 (SMB/CIFS プロトコルをネイティブサポート)
- TCP/IP 経由での Windows ファイル共有
- Windows クライアントの PostScript プリンタキュー共有
- NT LAN Manager 認証
- Mac および Windows ユーザ間でのファイルロックをサポート。ファイル内容を壊すことなく同時にファイル共有が可能。
- Unicode サポートにより多国語ファイル名に対応

NTドメインサービス

- プライマリドメインコントローラ (PDC)、バックアップドメインコントローラ (BDC) およびドメインメンバーサービスをサポート
- ホームディレクトリおよびローミングプロファイルのホスティングが可能
- NTLMv2認証

Active Directoryの統合

- Active Directory に保存されたデータの読み書きをサポート
- Active Directory ドメインメンバーシップのサポートおよび Kerberos の自動セットアップおよび自動サービス設定
- NTLMv2 および Kerberos を使用したセキュアな認証
- Active Directory アクセス制御リスト (ACLs) と完全互換

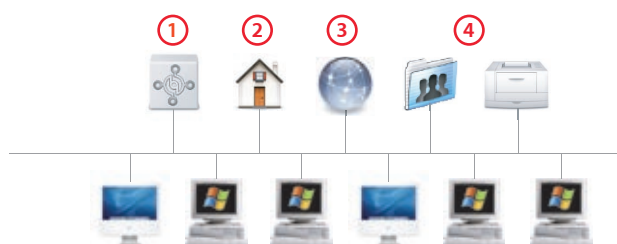
ネットワークサービス

- PPTP および L2TP/IPSec を使用した Virtual Private Networking (VPN) 接続
- サービス検索のための Domain Master Browser
- WINS を使用した複数サブネット経由での Name/Address 解析
- WINS および NetBIOS 設定での DHCP サーバ機能

Mac OS X Server は、Windows のみ、または混合プラットフォーム環境のいずれにおいても、Windows クライアントへの各種ネットワークサービスを提供するための理想的なプラットフォームです。最新のオープンソーステクノロジーを採用した Mac OS X Server は、Windows クライアント向けのファイルおよびプリンタ共有、ディレクトリおよび認証サービス、VPN などを含む、各種のネイティブワークグループサービスを提供します。業界をリードするアップル独自の管理ツールにより、これらのオープンソースサービスの設定、管理も極めて簡単に行えます。さらに、クライアント数無制限版の Mac OS X Server では追加コスト無しに、必要に応じてネットワークの規模を拡大できます。

アップルは最新版のオープンソース SMB/CIFS サーバ「Samba 3」を Mac OS X Server バージョン 10.4 に統合しました。NT ドメインサービスはもちろん、高いパフォーマンスと Windows クライアント向けの信頼性の高いファイルおよびプリンタ共有を同時に実現しています。アクセス制御リスト (ACL) のサポートにより、柔軟性が高く、Windows Server 2003 および Windows XP と完全互換のアクセス権管理が可能。NT ドメインサービスのサポートにより、複雑な Active Directory インフラを管理する組織や余分なコストを必要とせずに、Windows クライアント向けのネットワークホームディレクトリやローミングプロファイルのホスティング、各種ネットワークサービスへのシングルサインオン認証なども実現しています。既に Active Directory を採用している企業や研究機関などにおいては、Mac OS X Server はアクセス権、ユーザ&グループアカウント情報、認証などに関する Active Directory ドメイン統合をネイティブにサポートしながら、よりコスト効率の高いワークグループサービスを提供します。

Windows クライアント向けサービスの概要



- ① アップルのオープンディレクトリアーキテクチャは Mac および Windows クライアントの両方に対するログインおよび認証サービスを提供します。
- ② Mac OS X Server 上でホスティングされるネットワークホームディレクトリは Mac および Windows コンピュータの両方からアクセス可能なため、ユーザは好みのプラットフォームを選択できます。
- ③ WINS、NetBIOS、VPN などの Windows クライアント向けネットワークサービスを含んでいます。
- ④ 高速なファイルおよびプリンタ共有サービスにより、各種のネットワークリソースを Windows の SMB/CIFS プロトコル経由で共有できます。



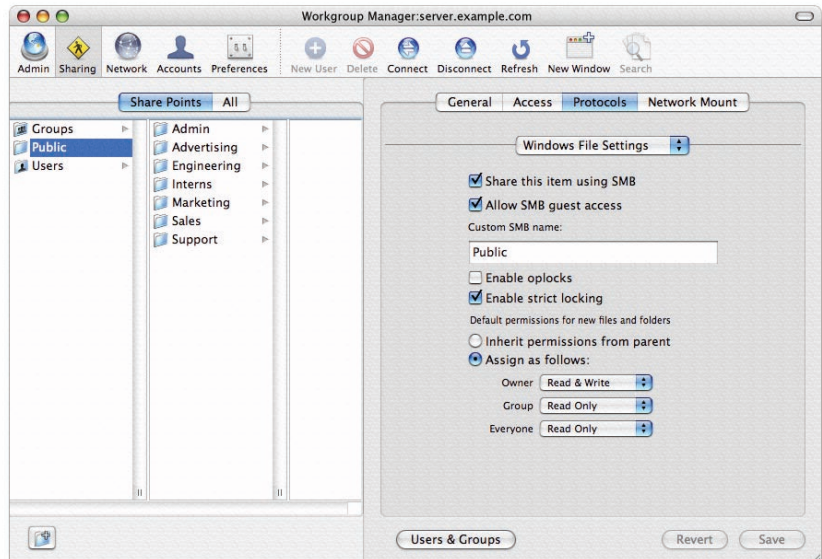
Mac OS X上でホスティングされた共有フォルダはWindowsクライアントにもネットワークリソースとして表示されます

ネイティブのファイルおよびプリンタ共有サービス

Mac OS X ServerではSMB/CIFSによるWindowsクライアント向けの高速度ファイル共有やプリンタ共有も簡単にできます。各種のネイティブサービス検索プロトコルのサポートにより、Mac OS X ServerシステムはあたかもWindowsサーバのように表示されるため、Windowsクライアントからはフォルダをブラウズしてファイル共有が行えます。特別なソフトウェアを追加インストールする必要はありません。

複雑なコンピューティング環境における柔軟性をさらに向上させるため、Mac OS X Server v10.4ではアクセス制御リスト (ACL) もサポートされています。これは、既存のUNIXまたはLinuxベースのプラットフォームでは前例がありません。ファイルシステムのACLサポートによりアクセス権の管理が拡張されています。共有ポイントやフォルダアクセス権の詳細な管理や、任意のファイルオブジェクトにアクセスできるユーザやグループ (グループ内のグループも可) の設定も可能です。また、アップルが実装するACLではWindows Server 2003 Active Directory環境と完全な相互互換性を有しています。Mac OS X Serverは混合プラットフォームのワークフローでのファイル共有に最適な究極のサーバプラットフォームです。

付属のワークグループマネージャを使用すれば、共有ポイントの設定やユーザアカウント情報の管理、アクセス権管理なども使いやすいユーザインターフェイスで容易に行えます。Mac OS X Server上でホスティングされるディスク/ボリューム/フォルダは任意のプロトコルの組み合わせで共有できるため、Mac/Windows/Linuxの各クライアントに対応可能です。



(スクリーンショットは英語環境です)

Workgroup Managerでは、ユーザ毎のディスクおよび印刷クォータに応じて、ネットワークリソースの使用制限を行うことが可能です。クォータはディレクトリ内のユーザ毎に適用されるため、ユーザが使用するコンピュータやプラットフォームには依存しません。Workgroup Managerで設定されたユーザアカウントおよびクォータはローカルサーバまたはメインのLDAPディレクトリサーバに保存可能です。Mac OS X Serverはアカウント情報にアクセス可能であるほか、Apple Open Directory、Novell eDirectory、Microsoft Active Directoryなどを含む、ほぼ全てのLDAPディレクトリに書き込み可能です。

Samba 3

Samba は、マイクロソフト社のファイルおよびプリンタ共有サービス「SMB/CIFS」を代替するためにオープンソース開発された、UNIXベースのプラットフォーム上で動作する共有サービスです。最新バージョンの Samba 3 では、NTドメインサービスおよび Kerberos によるシングルサインオン認証などの大幅な機能強化が施されています。Samba に関する詳しい情報は www.samba.org を参照してください。

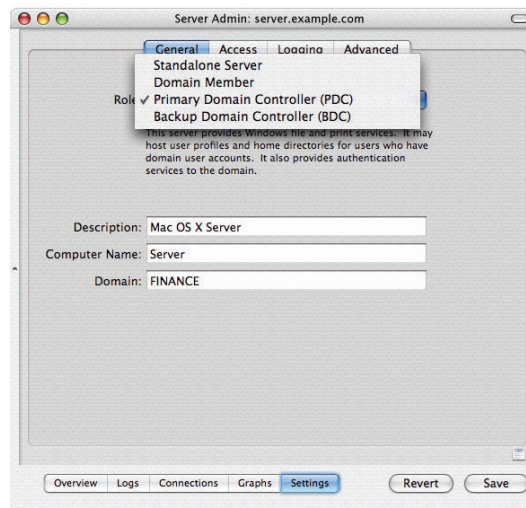
NTドメインサービス

アップルの標準仕様ディレクトリおよび認証サービスアーキテクチャ「オープンディレクトリ」では Samba 3 テクノロジーを使用して NTドメインサービスを実現しています。これにより、Mac OS X Server をプライマリドメインコントローラ (PDC) またはバックアップドメインコントローラ (BDC) として使用することができるため、Windows ユーザは Mac OS X Server に対して、パソコンのログイン画面から直接に認証を行えます。さらに、PDC のサポートにより、Mac OS X Server では Windows クライアント向けのネットワークホームディレクトリとローミングプロファイルのホスティングも可能です。

Samba 3 の統合により、Mac OS X Server は置換対象の Windows NT サーバや Windows 2000 サーバの理想的な代替プラットフォームになっています。また、複雑で高価な Active Directory インフラを必要としないところも大きなメリットです。

各種 Windows サービスの設定

パワフルなサーバ管理ユーティリティにより、単一画面インターフェイスで Mac OS X Server 上の各種ネットワークサービスの設定、管理、監視が行えます。各種 Windows サービスの設定を極めて簡単な操作で行えます。サーバの機能を選択してサーバ名と (必要であれば) 説明を入力し、「サービス開始」ボタンをクリックするだけです。



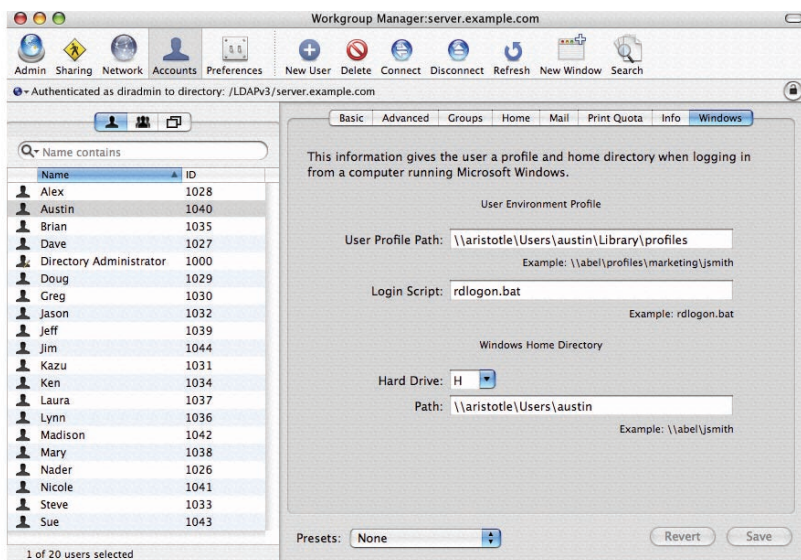
(スクリーンショットは英語環境です)

Mac OS X Server ではネットワークやシステム構成に合わせて、異なるレベルや機能の各種 Windows サービスを提供できます。全てのレベルにおいて、Windows クライアント向けのファイルおよびプリンタ共有が提供されます。

- プライマリドメインコントローラ (PDC) は NTドメイン、グループおよびコンピュータアカウントのホスティングを行い、オープンディレクトリを使用したドメインに対する認証サービスを提供します。PDC サーバではユーザプロファイルおよびディレクトリで定義された Windows ユーザ向けホームディレクトリのホスティングが可能です。
- バックアップドメインコントローラ (BDC) は、NTドメインログインと、Windows クライアントからの認証およびディレクトリサービス要求の、自動フェールオーバーおよびバックアップを行います。BDC サーバではユーザプロファイルおよびディレクトリで定義された Windows ユーザ向けのホームディレクトリのホスティングが可能です。
- ドメインメンバーは、ドメインユーザアカウントを持っているユーザのユーザプロファイルおよびホームディレクトリのホスティングが可能です。Mac OS X Server システムを PDC として使用しているクライアントに対する認証を行います。
- スタンドアロンサーバは、Windows ファイルサービスの認証を行います。Windows ドメインログインに対する認証サービスは行いません。この機能は管理されていないネットワーク環境または Active Directory インフラに統合されている場合に使用されます。

ネットワークホームディレクトリ

Workgroup Managerを使用することにより、ネットワーク上のユーザに対するWindowsローミングプロファイルとネットワークホームディレクトリの提供が簡単に行えます。ユーザがWindowsコンピュータにログインした場合や、ユーザがMacシステムにログインした際にマウントされていた同じネットワークフォルダにログインした場合、ユーザに対しては同一のネットワークフォルダとして扱われます。同一のフォルダを使用することにより、ユーザはいずれのプラットフォームからでも、個人ファイルやシステム設定に安全にアクセスできます。



(スクリーンショットは英語環境です)

VPN サービス

Mac OS X Serverは、内蔵のVirtual Private Network (VPN) サーバにより、まるで同じローカルエリアネットワーク上に存在するかのような、Windows コンピュータからのセキュアなリモートネットワークアクセスを提供します。Mac OS X ServerではポピュラーなPPTPおよびL2TPプロトコルを採用しているため、標準仕様のVPNクライアントを使用している各種のWindowsシステムをサポート可能です。Mac OS X ServerのVPNサービスでは、MS-CHAPやL2TPクライアント向けネットワークレイヤーIPSec暗合化などの、高度にセキュアな認証方法を採用しています。

Windows ネットワーク・インフラストラクチャ

Windowsクライアント向けのネットワーク・インフラストラクチャ・サービスも提供します。Samba 3では統合されたWINS(Windows Internetworking Name Server)およびNetBIOS(Network Basic Input/Output System)サービスを使用してネットワークブラウズやアドレス変換サービスなどを提供します。

WINSはコンピュータ名の登録とアドレス変換をダイナミックに行うため、同一ネットワーク上のWindowsクライアント同士がお互いを見つけられます。また、NetBIOSと併用した場合は、ローカルドメインコントローラを必要とせずに、サブネットをまたいでWindowsクライアントとドメインを見つけることが可能になります。

Mac OS X ServerのDHCPサービスはネットワーク上のWindowsクライアントのネットワーク接続や設定を簡素化するために使用できます。DHCPではWindowsクライアントに対してWINSおよびNetBIOS情報を自動的に割り当てることが可能です。システム設定とネットワーク管理の手間を大幅に低減できます。

Active Directory との統合

Mac OS X Server は、マイクロソフト社の Active Directory を使用する環境も含めて、ほとんどのネットワーク環境に適合するように設計されています。

Active Directory ドメインメンバーシップのサポートと、Kerberos およびサーバ設定の自動セットアップにより、Mac OS X Server v10.4 では Active Directory ドメイン内のユーザおよびグループの Kerberos 認証が可能になりました。また、Active Directory スキーマを変更せずに、Active Directory 内の基本ユーザアカウント情報へアクセスするようにも設定できます*。これにより、エンタープライズ環境内の各部門または各ワークグループは、既存の Active Directory インフラストラクチャを使用したアクセス権管理、ユーザ&グループアカウント情報、ならびに認証を維持しながら、Mac OS X Server が実現する低コストのファイルおよびプリンタ共有サービスを使用することが可能になります。Mac OS X Server によるセキュアなネットワークサービスは、マイクロソフト社が実装する Kerberos を使用した、クライアントのシングルサインオン認証もサポートしています。

アップルのサーバソリューション

アップルがお届けする UNIX ベースの「Mac OS X Server」オペレーティングシステムには、Windows クライアント向けのネイティブなワークグループおよびネットワークサービスが含まれています。最新のオープンソーステクノロジーと Mac の使いやすさを組み合わせることにより、Mac OS X Server はアップルのラックマウント型高性能サーバハードウェア「Xserve G5」のパワーを解き放ちます。目を見張るパフォーマンスと巨大なストレージ容量、高バンド幅の I/O システム、統合されたリモート管理ツールなどを備えた Xserve G5 と Mac OS X Server はビジネス、教育機関、研究施設などに理想的なサーバソリューションです。

さらに詳しい情報

Mac OS X Server、Xserve とその他のアップルサーバソリューションに関する詳細は、
www.apple.com/jp/server/ をご覧ください。

*Mac OS X Server には Windows Server 2000 および Windows Server 2003 向けの Active Directory クライアントサポートが含まれています。管理者がワークグループマネージャアプリケーションを使用してクライアント設定を行う場合はスキーマ変更が必要になる場合があります。

© 2005 Apple Computer, Inc. All rights reserved. Apple, Apple ロゴ、Mac、Mac OS、Xserve は米国およびその他の国で登録されている Apple Computer, Inc. の商標です。この資料に記載のその他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。この資料に記載された製品仕様は予告なく変更することがあります。この資料は製品案内のために用意されたもので、当社はその使用に関する責を負うものではありません。この資料の掲載内容は2005年4月現在のものです。